

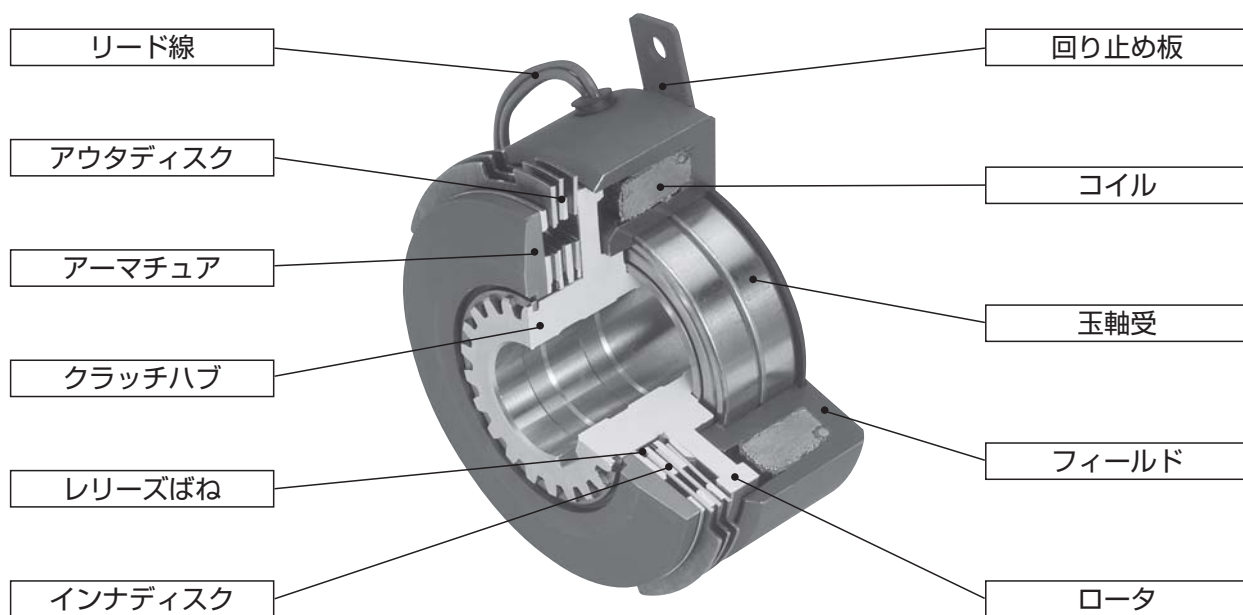
構造と動作

クラッチは、ロータと一体になったクラッチハブのスプラインに、インナディスク、アウトディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後にアーマチュアを組み込んだもので、フィールドはクラッチハブに玉軸受で支持されています。アウトディスク外周のラグ部にカップリングをかん合して、トルクを伝達します。

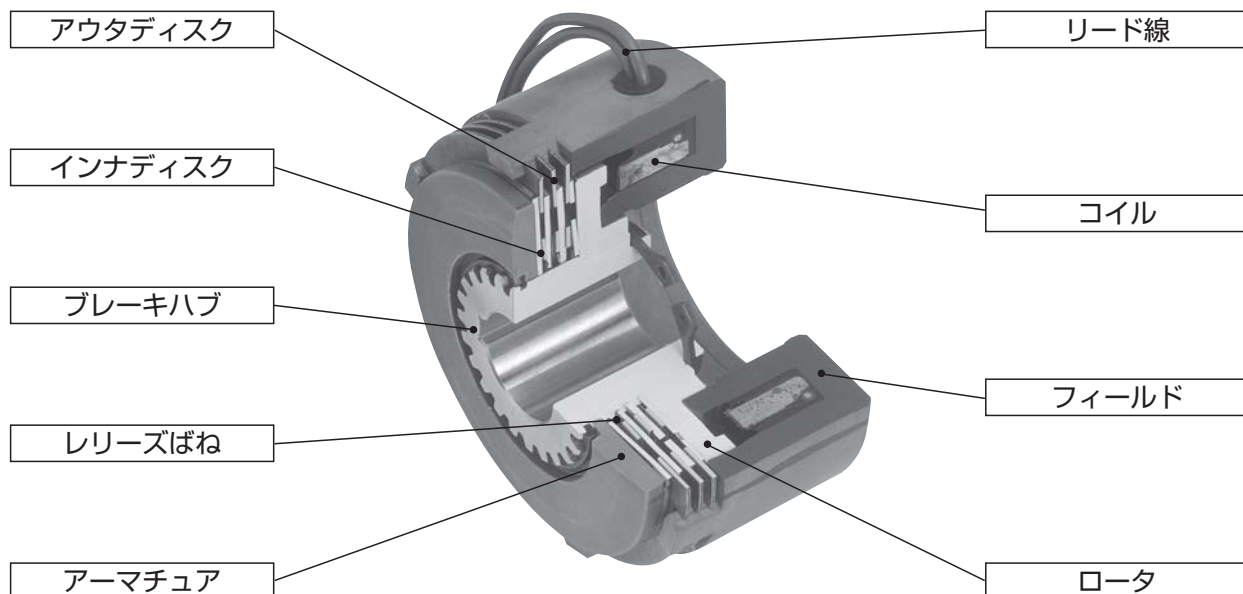
ブレーキは、ロータと一体になったブレーキハブのスプラインに、インナディスク、アウトディスクおよびリリースばねを交互に入れ、最後

にアーマチュアを組み込んだもので、アウトディスク外周のラグ部にフィールドのカップリング部がかん合しています。

コイルに通電すると、フィールド、ロータ、ディスクおよびアーマチュアに磁束が流れ、アーマチュアおよびディスクがロータに吸引され、クラッチは連結します。励磁を切ると、リリースばねによりディスクは分離し、クラッチは解放します。ブレーキの動作も同様です。



MDC形 クラッチ



MDB-N形 ブレーキ